

新型コロナウイルス用  
新潟キャンパス感染予防対策ガイドライン

日本歯科大学新潟生命歯学部

本ガイドラインは「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインについて」（2 文科  
高等第 238 号、令和 2 年 6 月 5 日文部科学省高等教育局長発）の内容に準拠して作成したものである

## 1、新潟生命歯学部キャンパス内における予防対策の概要について

今後のキャンパスでの生活において最も重要な点は、「3密」の条件（換気の悪い密閉空間，多数が集まる密集場所，近距離での会話や発話が生じる密接場面）が重なることを徹底的に回避することである。具体的には教室等の施設の換気を適切に行うことや、全学生がマスクを着用することなど、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が示した「新しい生活様式」を踏まえ、日常的に感染予防を意識した学生生活を心がける必要がある。

## 2、感染予防対策として新たに定められた基本的なルール

新型コロナウイルスの感染様式は「接触感染」と「飛沫感染」が中心と考えられている。この点を踏まえて教務部および学生部では以下のような基本的ルールを全学年共通で策定したので遵守するように。

- 1 大学構内ではマスクを装着する
- 2 登下校時も含めソーシャルディスタンスの確保に留意する
- 3 各施設の入口では手指消毒（80%エタノールを配置）を必ず実施する
- 4 教室や実習室の換気に配慮し、不用意に施設や備品等には触れない
- 5 毎朝必ず健康管理票の記録を行う（体温を測定する）
- 6 発熱時は登校しないで教務部（5年生は担当者）に連絡する
- 7 教室、実習室では指定の座席を使用する
- 8 大声での会話は控え、接触機会は最小限にする
- 9 同居家族以外との接触は可及的に控える
- 10 県外からの来訪者との接触を控える
- 11 県境をまたいでの外出は控える
- 12 人ごみを避け人と接触する可能性のある不要不急な外出はしない
- 13 カラオケ店や狭く換気の悪い飲食店など3密環境になりやすい店舗は利用しない
- 14 運動は個人か少人数で行い社会的距離を保つ
- 15 体調の変化に気を配り着衣や持ち物の清潔を心掛ける

## 3、時間割および施設の利用に関する詳細

### 1 時間割について

6年生、短大3年生については対面講義のみ実施。その他の学年は実習のみ実施となっており、講義はWebで実施される。朝の講義、実習開始時間は8時45分に変更はない。昼食時間60分間と移動時間を60分間確保するため、午前・午後の間は合計2時間を確保しており、食事や通学移動に要する時間以外に手洗いやうがい、手指消毒等に必要な時間も含め余裕を持たせ感染対策にも配慮した時間割としている。

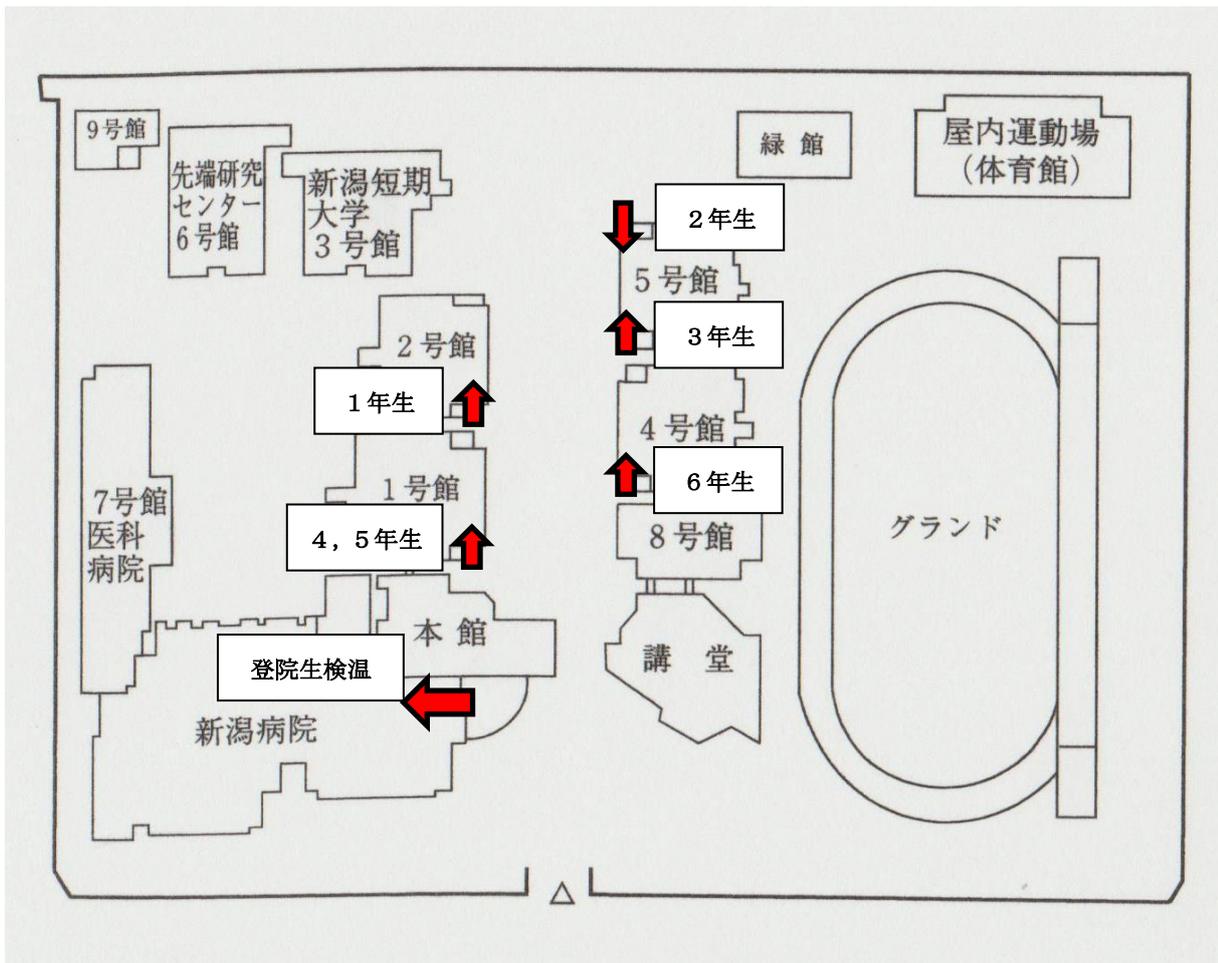
### 2 各施設について

感染対策として学年別のゾーン管理を実施している。学年ごとに学生は講義室、実習室が指定され、基本的に同室に至る通路を含め入構可能領域は最少化され、各館ごとに動線も指定されている。指定の教室、実習室のある号館以外には基本的に立ち入らないように。

各館への入口は動線が交差しないように下記のように指定する（サーモグラフィーによる体温測定を実施

するため必ず登校時は指定の入口から入館するように)。

各館の入口には手指消毒剤、靴拭き用マットが用意されているので使用するように。



### 3、学食およびYショップ、売店（田中歯科）の利用について

学年ごとに時間割に配慮して下記のように使用時間等を区分している。1年生、2年生は午前か午後のみ  
の在校となるため、利用は原則不可とする。

#### ① GAKUSHOKUの利用について

対象	食堂利用時間	弁当購入時間	備考
6年生	12:00-12:30	時間指定なし	
5年生	12:30- 13:30	時間指定なし	
4年生	12:00-12:30※	時間指定なし※	※午前午後に実習がある場合に限る
3年生	12:00-12:30※	時間指定なし※	※午前午後に実習がある場合に限る
2年生	利用不可	利用不可	午前か午後のみ在校のため
1年生	利用不可	利用不可	午前か午後のみ在校のため
短大3年生	12:00-12:30	時間指定なし	
短大2年実習生	12:30- 13:30	時間指定なし	
短大1年	12:00-12:30※	時間指定なし※	※午前午後に実習がある場合に限る
教職員	11:00-12:00 12:30-13:30	時間指定なし	食堂の混雑具合を見て判断

食堂利用は、GAKUSHOKUで注文もしくは弁当購入したものを食堂で食事することを意味する。

弁当購入は、GAKUSHOKU前で販売されている弁当を購入することを意味する。

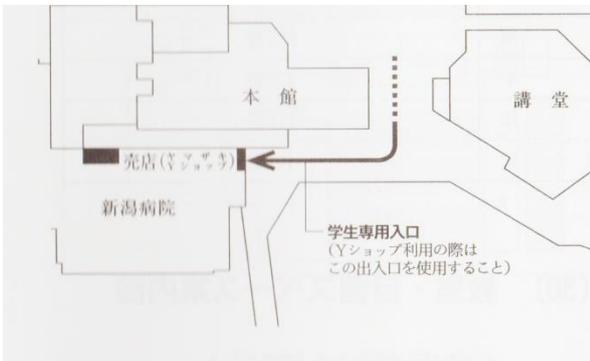
GAKUSHOKUの座席は対面とならないように、一部は使用を制限しています。

② Yショップの利用について

対象	利用時間	注意事項	備考
6年生	時間指定なし	密を避けるように	
5年生	時間指定なし	密を避けるように	
4年生	時間指定なし※	密を避けるように	※午前午後に実習がある場合に限る
3年生	時間指定なし※	密を避けるように	※午前午後に実習がある場合に限る
2年生	利用不可	密を避けるように	午前か午後のみ在校のため
1年生	利用不可	密を避けるように	午前か午後のみ在校のため
短大3年生	時間指定なし	密を避けるように	
短大2年実習生	時間指定なし	密を避けるように	
短大1年	時間指定なし※	密を避けるように	※午前午後に実習がある場合に限る
教職員	時間指定なし	密を避けるように	

Yショップを利用する際の経路（専用出入口）について

Yショップを利用するには指定された出入口を利用すること。5年生が利用する場合は指定された院内の階段を利用するなど動線を厳守し、密にならないように留意すること。



Yショップ利用時の学生専用入口

Yショップ前の談話室は患者専用なので、学生の使用は禁止されている。昼食時など来店者が集中しやすい時間は、特に密な状態にならないように注意するように。

③ 田中歯科器械店売店の利用について

学部、短大各学年ともに時間指定はありません。店内は狭いため密にならないように配慮すること。

4、その他共用スペースの利用について

トイレはウイルスの感染源になるとの指摘もあるので注意する。個室を利用する際には便座クリーナーで便座を消毒する。手洗いの後エアータオルは使用せず、各自でハンカチ等を準備し手を拭くように。

ITセンター、図書館、学習室などの共用スペースは学生諸君が感染予防に関するルールを順守することを前提に段階的に使用が許可される予定である。ルールが守られない場合、およびウイルスの脅威が拡大した時には即時閉鎖となるので、連絡メールや掲示板を常に確認するように。

共用スペースに入室の際にはあらためて入り口で手指消毒を行う。前後左右に十分な距離を取って着席し、周囲をアルコールで消毒してから利用する。

ITセンターではキーボードおよびマウスの消毒には備え付けの100%(99.5%)アルコールスプレーを活用する。使用状況や人数により使用方法に変更があるので指示に従って使用する。

## 5、実習時の対策について

### 1、「マルチメディア臨床基礎実習室」の対策について

マルチメディア実習は、第1学年（86人）、3学年（70人）、第4学年（58人）が使用する。第1学年と第3学年は学生数が多く、感染防止策を徹底するため学生を半数に班分けして実習を行う。また、いずれの実習でも学生間の距離を保った座席としている。実習中は器具機材の配布時、技工コーナーの使用時など学生間が密になりやすい状況が想定され、各実習責任者の指示にしたがって密にならないように各自留意するように。

- ① 第1学年は金曜日の午前中、半数の学生が“ハンドスキル実習”で利用する。なお他の学生はWebでコミュニケーション実習を行う。入室時にはマスク（サージカルマスク）をして手指消毒液で必ず手指消毒を行う。実習中の会話は避け指導医の感染防止対策の指示に従う。実習中は中庭側・病院側・2号館側の窓を解放して換気を行う。終了時には実習室・技工室の清掃を行うと共に、設置している「セイフキープ」で実習机・椅子など使用した身の回りのもの、使用器具（マネキンやハンドピース等）を拭き取る。拭き取ったセイフキープは白い感染ごみ専用ゴミ箱へ廃棄する。退出時には室外へ感染源を持ち出さないようにするため、手指消毒を行って退出する。
- ② 第3学年では“矯正学実習（水曜日の午前）”と“顎口腔機能診断学実習（木曜日の午前）”で使用する。第3学年では2グループ制とし、実習室で90分間実習を行う実習グループ、511教室で75分間の課題学習を行う課題グループに分かれ、途中で交代をして実習グループは課題学習、課題グループは実習を行う。入退室時の注意事項は第1学年と同様である。
- ③ 第4学年では多くの臨床系実習で使用する。人数が少ないため間隔をあけた座席で実習を行う。使用法は上記同様である。必要に応じてグローブを着用して実習および拭き取りを行う。

※本学では学年によるゾーニングを行っているため、学生は指定された建物以外には入館せず、私語を控え替えて移動する。実習終了後は他学年と待ち合わせや交わることなく、速やかに着替え帰宅あるいは昼食を取り午後の実習に備える。

※PCを使った試験で使用した場合も、学生の入退室時のマスク着用と手指消毒は同様に行う。また試験終了時にはマウス・キーボード・遮蔽板等の拭き取りを行う。

※指導教員はマスクと適宜グローブを着用する。実習内容によってはフェイスシールドを使用する。また学生とは可能な限り距離を保ち、必要以上の会話は控え接触も慎むことにしている。

## 6、臨床実習生（登院生）の病院内での感染対策について

学生に配布する CSL 実習指針に記載されている院内感染防止対策、新潟病院における新型コロナウイルス感染症に

対する院内感染防止対策マニュアル（別冊子参照）に沿って行動するように。

- ① 臨床実習生は毎朝、登校前に健康状態を確認し、健康自己観察表（別紙）に記載する。  
（健康自己観察表は出席確認に使用するため指導医から検印をもらう）  
朝の登校時に教職員・登院生専用出入り口付近で、サーモグラフィーを使用した体温確認を行うため。順路を遵守すること。発熱や症状が認められた場合には、実習先の科長・医長または CSL 委員に連絡するように。状況により医科病院受診し、入院もしくは帰宅して自宅待機とする場合もある。
- ② 登校前に発熱、体調の不良があった場合は、新潟病院に直接電話する。  
科長、医長、または CSL 委員が詳細を直接確認する（伝言は禁止とする）。
- ③ 学生研修室（控室）・更衣室用のアルコール手指消毒薬を準備してあるため使用すること。
- ④ 学生用ゴーグル、マスク、キャップ、フェイスマスクの保管場所を確保し、管理を徹底するように。
- ⑤ 各科医局への入室は最小限とし、入室する場合は密とならないように人数に配慮し、手指消毒等を徹底するように。

## 4、悩みや感染が怖いなどの精神的なストレスへの支援について

新型コロナウイルスの影響は、感染者に身体的なダメージを与えるだけでなく、感染の有無を問わず人々の精神活動にもマイナスの影響を与え、恐怖や不安、興奮、不眠など様々な影響を生じさせる可能性があります。

隔離や待機などの対策は、感染拡大防止のためにやむを得ない面はありますが、行動の制限は喜怒哀楽の感情を失われたり、不安を感じたり、疎外感のような気持ちが生じることがあります。

これらの反応は特別なものではなく、誰にもでも起こり得る心理反応です。過剰に悲観的になる必要はありません。新型コロナウイルスに限らず感染症に対する基本的な対策は確立しており、現在の予防対策を継続すれば将来的に沈静化すると推察されます。

しかし、楽観的に従来の生活に今すぐに戻れる訳でもないので、ストレス解消を心掛けながら、うまく自分が抱く不安や恐怖などと付き合う姿勢が重要です。こころとからだの健康を保つためにも、親しい人と話す機会を大切に、互いにねぎらう配慮、睡眠や食生活など生活習慣を見直し生活リズムを維持するように努めましょう。

皆さんの身近に存在する教員は、誰でも気軽に悩みの相談に乗ってくれます。クラス主任や副主任。サポーターの先生などに声をかけてみましょう。それが難しい場合は、学生相談室の利用をお勧めします。

相談室には、日々の生活における困り事や悩み、何でも相談が出来ます。簡単な心理検査も出来ますので気軽に利用してください。面談を希望する人は大学ホームページで予約可能な日時を確認の上、予約フォームで予約してください。個人の秘密は固く守られます。下記は予約サイトのQRコードです。

相談室の開設時間は木曜日 16:30～19:30、金曜日 18:30～19:30 です。直通電話は 025-267-1523 (相談日のみ通話可能)です。



予約サイト QR コード

## 5、部活動や放課後の過ごし方に関する留意点

令和2年10月時点では、全部活動を停止としています。少なくとも年内はこの状態を維持する予定ですので、対外試合や納会、卒業生の追出しコンパ等は当面自粛してください。

ただし、基礎体力の維持や一定の交流や後輩の指導や支援などを目的とした、個人練習や少人数での運動は従来通り黙認します。今後、学生部では感染対策に配慮しつつ可能な範囲で、限定的な練習活動を再開できるか検討を行います。運動施設も順次、利用再開を予定していますので、今しばらくの間は個人トレーニングを中心に活動してください。

部活に入っていない者も多いと思われませんが、放課後の過ごし方にも注意が必要です。終業後の時間が長く自由に過ごせるために生活習慣が崩れたり、ゲームやネットに依存するような生活とならないように注意が必要です。

これから後期に残された勉強可能な時間は前期よりも短く、個人的な学習時間を確保し早期に試験対策を開始することが重要です。感染予防とともに学力向上に向けた計画を立てて勉強時間を確保してください。

## 6、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）登録について

厚生労働省が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA:COVID-19 Contact Confirming Application）のインストールをお願いします。

このアプリは、利用者本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能(Bluetooth)を利用し、お互いが分からないようプライバシーを確保しながら、14日以内に新型コロナウイルス感染症陽性者と接触した可能性(陽性者と1メートル以内、15分以上接触)の通知を受けることができるものです。

App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。「COCOA」で検索すると、厚生労働省のインストール画面に誘導されます。

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをおねがいます

自分をまもり、大切な人をまもり、  
地域と社会をまもるために、  
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省  
新型コロナウイルス  
接触確認アプリ  
(略称：COCOA)  
COVID-19 Contact Confirming Application

接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです

※画面イメージ

- 本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（Bluetooth）を利用して、お互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

**1メートル以内、15分以上の接触した可能性**

接触に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはありません。どこで、いつ、誰と接触したのかは、互いにはわかりません。

- ※端末の中のみで接触の情報（ランダムな符号）を記録します
- ※記録は14日経過後に削除となります
- ※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません
- ※Bluetoothをオフにすると情報を記録しません

iPhoneの方はこちら    
Androidの方はこちら    
詳しくはこちら  

厚生労働省 内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進室 情報通信技術(IT)総合戦略室

詳細な解説は厚生労働省ホームページで確認できます

## 7、体調不良時の連絡先について

教務学生部 大学代表番号 025-267-1500

交換の担当者に教務学生部に連絡したい旨を告げれば電話をつないでくれます。医科病院の受診を希望する場合は必ず申し出てください。

在校中に急に熱っぽくなったり、気分が悪くなったりした場合も、必ず教務学生部まで申し出るように。学生が受診まで待機できる部屋を用意してあります。

受診時に病状経過が正確に説明できるように、健康観察票の体温や症状等の記録を励行するように。